

2008 年度決算説明会

主な Q&A

Q：コア Tier1 比率 4%超の維持を目標とするとの説明があったが、3 月末です
でに 4.53%と、目標を超えている。今後、5%、6%と目標値を高める考えは
あるか。その場合、普通株増資は選択肢としてありうるか。

A：コア Tier1 比率は国際的にも議論の最中で、まだ定義についてコンセンサ
スは無い。預金超過の銀行と欧米に多いレバレッジをかけた銀行の基準が一律
でよいのかなど、まだまだ議論を深めていく必要があると考えている。来年
になれば、こうした議論の行方がある程度見えてくると思われるが、米国ス
トレステストの基準でも、弊社は現状十分なレベルにある。当面は議論の落
ち着きどころを見極めつつ、自己資本比率 12%、Tier1 比率 8%、コア Tier1
比率 4%を意識して運営する。一時期に比べて株価は回復しており、資本毀
損のリスクは減少している。増資については、それが必要な状況でありかつ
株主・投資家の皆さまにもご理解頂けるという状況であれば先行き検討する
可能性もあるが、現時点で具体的な計画はない。

Q：政策投資株式の削減に関し、具体的な目標値はあるか。

A：政策投資株式の削減については、諸般の状況を考慮し、お客さまとの協議等
も踏まえ、決定していきたいと考えており、具体的な目標値は無い。

Q：リテール戦略について、銀行にフォーカスするのか、あるいはノンバンクや
証券も含めてグループ全体で強化する方針か。

A：「貯蓄から投資へ」の流れは今後も続くと思われるが、環境次第で売れる商
品は異なる。その中で、我々としては、運用商品に限らず、預金も含めた「総
預り資産」を増やしていくという戦略に変わりはない。また、そのベースと
なる給与振込みなども強化していく。クレジットカードも含めたコンシュー

マーファイナンス業務はこれから伸びていく分野と考えている。カードについては、MU ニコスのみならず、銀行の総合カードも伸びている。アコムも環境は厳しいがしっかりした会社。ジャックスも黒字を出している。コンシューマーファイナンスは我々の戦略の大きな柱の一つである。

Q：ユニオンバンクを完全子会社化したが、次の北米戦略の具体的なイメージは？

A：100%子会社化したことで、迅速な意思決定が可能になった。今後、ユニオンバンクの顧客にモルガン・スタンレーの商品を供給したり、ユニオンバンクと三菱東京 UFJ 銀行の協働など、色々な可能性を検討していきたい。